

～検査だよりは検査部が年3,4回発行している広報誌です～

インフルエンザ感染症流行の兆し

検査部技師長 堀田多恵子

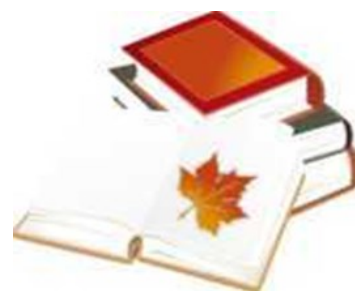
皆様、こんにちは。検査だより11月号をお届けします。

ウィズコロナ時代、新型コロナウイルス(COVID-19)が依然として存在し、感染のリスクが続いている状況で、季節性インフルエンザの例年より早い感染拡大は懸念される事象です。

現在、福岡市の定点医療機関(51医療機関)における週ごとの定点数は、注意報レベルの10には達していないものの、35週(8/28～9/3)での3.65から36週(9/4～9/10)での8.36へ増加傾向を認めます。インフルエンザは我々にとってお馴染みのウイルスであり、治療には有効な抗インフルエンザ薬(タミフル、リレンザ、ボナリス等)の使用が可能です。インフルエンザと新型コロナウイルスには共通した症状がありますが、より迅速な診断は感染拡大の早期発見と適切な対策を講じることを可能とします。より正確な診断のためには、検査が必要です。

検査部ではインフルエンザと新型コロナウイルスとを同時に判定する検査への切り替えも視野に入れつつ、検査体制の増強を行っております。しかし、予防には皆様の協力が必要です。手洗いでインフルエンザを予防して、症状があったらマスク等でせきエチケット。『かからない』、『うつさない』という気持ちが予防にはとても大切です。

ご愛読、ご理解に感謝申し上げます。



《今号の紙面》

検査部技師長よりあいさつ	…p.1
鉄分検査室	…p.2
検体検査室・免疫検査室よりお知らせ	…p.3
検査部・病理部からのお知らせ	
・編集後記	…p.4





添田駅対面乗換

平成29年(2017)7月5日から6日にかけて梅雨前線に向かって南方の暖かい湿った大気が流入し、福岡県と大分県にまたがる地域に線状降水帯が発生し甚大な被害をもたらした。「平成29年7月九州北部豪雨」である。

鉄道の被害も甚大であった。日田彦山線では土砂流入による大行司駅舎倒壊や釈迦岳トンネルへの土砂流入等63ヶ所の被害が発生し、添田・夜明(よあけ)間が不通となった。久大本線では光岡(てるおか)・日田間の花月橋梁が流出し、うきは・光岡間が不通となった。復旧までの間は代行バスが運行された。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

日田彦山線は、日豊本線城野駅から分岐し筑豊地域を經由して久大本線夜明駅に至る九州北部を縦貫する路線である。北九州と日田とを連絡する路線であるが、現在では高速道路での移動が主となっており沿線住民でも日田彦山線全線乗車の経験のある人は極少数とみられる。

久大本線は、花月橋梁が架け替えられ被災から1年後の平成30年(2018)7月14日全線復旧した。一方日田彦山線の復旧には時間を要した。地元自治体は鉄道での復旧を望み、JR九州はBRTの復旧を望み、復旧方式をどうするのかや復旧費用をどう捻出するのか等で難航したためである。最終的にBRTでの復旧が合意された。

BRTはbus rapid transitの略で、専用走行空間を確保し速達性、定時性、輸送能力を確保した公共バス交通システムのことである。平成23年(2011)3月11日の東日本大震災で被災した線区の復旧にBRTが2線区で採用された。気仙沼線BRTと大船渡線BRTである。日田彦山線のBRTはJRの被災鉄道のBRTでの復旧としては3例目になる。

今夏8月28日日田彦山線添田・久大本線日田間 37.7kmにBRTひこぼしラインが開業し、6年ぶりに日田彦山線が復旧した。彦山・宝珠山間14.1kmは線路敷跡の専用道を走行し、他の区間は一般道を走行する。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

気仙沼線BRTや大船渡線BRTに乗車した際には身近なところにBRTが走るようになるとは想像もしていなかった。BRTひこぼしラインが地元の人々や観光客の足として大いに利用される事を願う。



BRT大行司駅 路線跡を走るバス

検体検査室・免疫検査室よりお知らせ

新型コロナウイルス抗原検査について

抗原定量検査ってどんな検査？

ウイルスの構造は単純で大きく2つに分けられます。1つは核酸 (DNAやRNA) で、PCR検査によって調べられます。もう1つは、核酸を包み込んで保護するタンパク質です。感染したウイルスに特有のタンパク質(抗原)をしらべるのが「抗原検査」であり、PCR検査と同様に「現在感染しているか」を調べる事ができます。「抗原検査」は、体内の抗原に対する抗体を用いて検査を行います。

抗原検査は、PCR検査に比べて検出に必要なウイルス量が多いです。そのため、発症早期でまだ体内のウイルス量が少ないときに検査を行うと、正しく検出できない可能性があります(偽陰性)が、本検査のような、高感度定量抗原検査法(化学発光酵素免疫測定法)の検出感度はPCR検査に次いで高いです。

抗原定量検査のオーダー・提出方法

ナビゲーションマップ→検査系→検体検査→感染症検査→新型コロナウイルス検査

入院時SARS-CoV-2抗原定量: ハイリスク(移植後,血液腫瘍,間質性肺炎等)の無症状患者入院時
診療用SARS-CoV-2抗原定量: 有症状患者

受付時間: **平日のみ** * 提出は**必ず16時まで**に検体検査室までお願いします。



検体: 鼻咽頭ぬぐい液 (喀痰、唾液は不可)

- 検体前処理液に入っている不活剤は室温2分静置で99.9%以上*の感染性の低減化が確認されています。(*Roche エクルーシス用検体前処理液)
- 容器によっては液漏れが生じているものがあります。採取後は蓋をしっかりと閉め、付属のパラフィルムをお使い下さい。
(割れやすいため取り扱い注意!!)
- 採取後のスワブは、スピッツの中に入れてそのまま提出してください。



新型コロナ抗原定量検査検体は不活剤を使用しているため
専用の搬送容器が**不要**になりました。

結果の解釈

1.0 COI 以上 陽性(+)

陽性の場合、検査部より主治医(担当医)へ報告いたします。
グローバル感染症センターへの連絡は各診療科からお願いいたします。

	受付時間	提出場所	検査時間
抗原定量	平日の日中のみ 締切 11:00→結果 12:00 締切 14:00→結果 15:00 最終締切 16:00→結果 17:00	検体検査室	約25分
抗原定性	24時間 (検査部からキット配付し、診療科で実施)	日中: 検体検査室 時間外: 時間外検査室 結果の用紙を提出してください。	約10分

検査部からのお知らせ

サイトメガロウイルス核酸定量検査の院内導入について

令和5年10月25日より、サイトメガロウイルス核酸定量検査(CMV-DNA定量)を外部委託検査から院内検査に変更しました。測定試薬、基準範囲に変更はありません。

項目名：CMV-DNA定量(サイトメガロウイルス核酸定量)

検査方法：リアルタイムPCR法

検体種別：血漿

所要日数：1～2日

容器：白cobas 5mL

単位：IU/mL

基準範囲：検出せず

問合せ先：検査部 免疫検査室(5753)

病理部からのお知らせ

オンコタイプDX乳がん再発スコア受託開始について

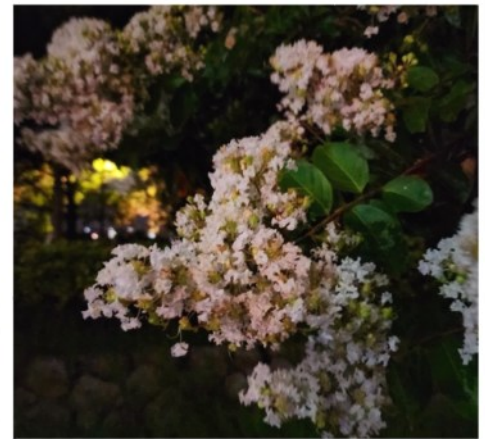
令和5年9月1日より、オンコタイプDX乳がん再発スコアが受託開始となりました。HISより発行された病理組織診断申込書とラベルを病理部に提出して下さい。

問合せ先：病理部 (5854)

編集後記

「真夏の夜の百日紅(さるすべり)」

7月末頃でしょうか、連日の酷暑に嫌気がさすある晩、帰宅の途中、バス停を降りた瞬間、満開の百日紅が私の視線を奪い、しばらくの間、ただその美しさに見入ってしまいました。他の花々が日中の容赦ない日差しに打ちのめされ、しぼんでいく中、唯一、百日紅だけが誇らしげに、際立っていました。その光景は、まるで白黒写真に一点の色を巧妙に浮き彫りにする写真の技法のようで、とても印象深いものでした。この光景を眺める間、あれほど執拗(しつこ)かった真夏の憂鬱が、一掃されるかのように感じました。周囲を見渡すと、淡い朱以外にも鮮やかな紅や白の花を纏った百日紅の並木が街路を彩っていました。これまでの間ずっと、この場所に立ち並んでいたはずなのに、私はその存在にほとんど気を留めていませんでした。美しいものを見たい、知りたい、と渴望しながら、日々対象を探し求めてきましたが、身近に潜む美しさに気づけなかったことに、なぜなのかと煩悶し、それはきっと、鬱屈する負の感情を抱いた代償として、美への感受性が高まったせいだろうと、これも一種の恒常性維持のしくみののだろうと、妙に納得せざるを得ませんでした。



(瀬戸山大樹)